



2022年5月13日

各位

上場会社名 スーパーバッグ株式会社
 代表者 代表取締役社長 樋口肇
 (コード番号 3945 東証スタンダード市場)
 問合せ先 取締役執行役員経理部長 吉田精一
 (TEL 04-2938-1244)

特別損失の計上及び業績予想と実績の差異に関するお知らせ

当社は、特別損失の計上を行うとともに、2022年2月4日に公表した2022年3月期の通期業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想と実績との差異について

2022年3月期通期連結業績予想と実績との差異(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	25,700	△400	△400	△420	△274.80
実績(B)	25,134	△496	△503	△642	△420.51
増減額(B-A)	△566	△96	△103	△222	
増減率(%)	△2.2	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	26,253	△137	△150	△383	△250.93

2022年3月期通期個別業績予想と実績との差異(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	24,500	△110	△120	△20	△13.09
実績(B)	23,967	△196	△204	△88	△57.72
増減額(B-A)	△533	△86	△84	△68	
増減率(%)	△2.2	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	24,681	△126	△147	△317	△207.56

差異の理由

売上高につきましては、新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置の延長に伴い、人流の回復が抑制されたことで、来店型事業における包装資材需要が鈍化し、予想を下回りました。

利益面につきましては、売上高の減少により営業利益、経常利益ともに予想を下回り、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、特別損失として投資有価証券評価損22百万円及び後述の海外子会社における固定資産減損損失159百万円の計上により、予想を下回りました。

2. 特別損失の計上について

当社の海外子会社である上海世霸包装材料有限公司は、2021年11月16日付「連結子会社の操業停止に関するお知らせ」において公表いたしましたとおり、レジ袋の生産を終了しております。生産業務終了に伴い、2022年3月期第4四半期連結会計期間において、生産設備の固定資産減損損失159百万円を特別損失として計上することといたしました。

以上